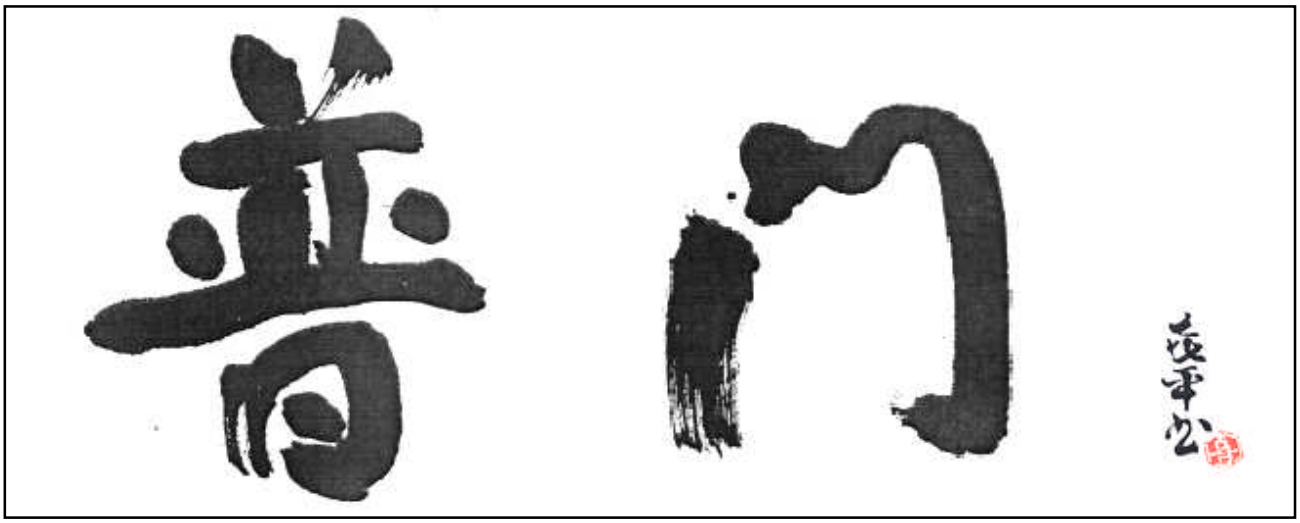
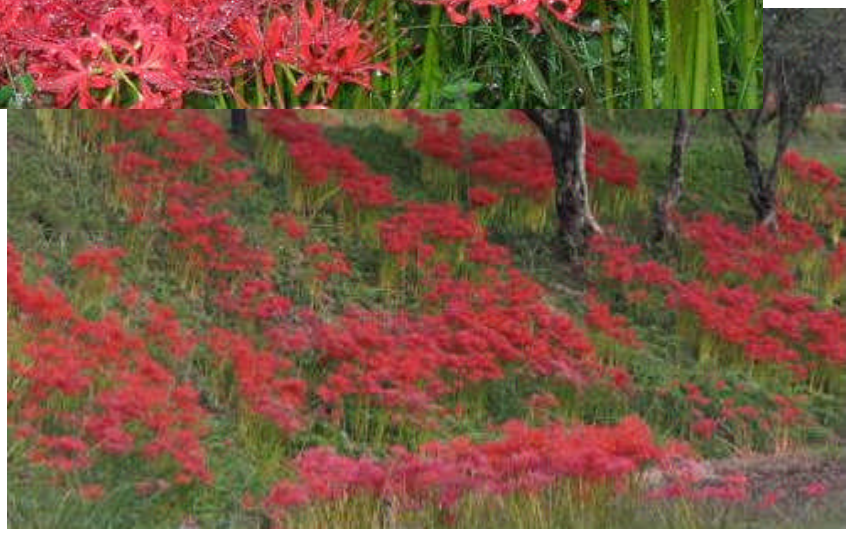


医療法人普門院診療所機関誌　　平成２２年秋号



お彼岸と長寿社会

西明寺住職
内科医師　田中雅博

お彼岸と西明寺詠歌

秋分の日は祝日でお彼岸の中日です。秋分の日には太陽が真西に沈みます。それで西方浄土に繋がり、彼岸とも関連してきます。

坂東観音霊場の第20番札所である西明寺には「西明寺　誓いをここに　尋ぬれば　終の棲家は　西とこそ聞け」という西明寺詠歌が伝わっています。これを、山岡鉄舟さんが、ひらがなで書かれています（右上の写真参照）。

ここで「誓い」は観音菩薩の誓願です。観音経には「弘誓深如海」（誓願は海の如く深く）とあります。四弘誓願の最初は「衆生無辺誓願度」です。「自らは四苦八苦の此岸に止まり、限りない数の人々をすべて安楽の彼岸に渡す」というのが菩薩の誓願です。

終の棲家は「西」とありますが、「西」はなんでしょう？。西方浄土の「西」でしょうか、西明寺の「西」でしょうか？。「西」は理想の終の棲家なのです。

世界一の長寿国で所在不明高齢者続出

死者の年金不正受給は日本に限ったことではなく西洋でもあるようです。貧困の問題が背景にあるのでしょう。それにしても葬儀の費用が工面できず白骨化したというのは日本独自かもしれません。キリスト教文化圏では臨終に神父が呼ばれます。神父が死亡を知った上で、お金が無いから葬儀をしないなどとは言わないでしょう。現在日本では、死んだ後で寺院に連絡が入ります。多くの僧侶が、檀信徒の人生の最後にかかわっていないという現実があります。

現在日本には、胃瘻による経管栄養中の患者が約40万人います。その多くが寝たきり高齢者です。特に認知症が進むと嚥下ができない状態になります。食べられなければ衰弱して死ぬので、延命のためには経管栄養が必要になります。苦痛が無い延命なら良いのですが、病気が進むと痛みを伴うようになり、痛みに耐えている時間の延長になってしまいます。食べられずに苦しむ餓鬼道のような延命を自ら望む人は殆どいません。進行した認知症では本人の意思を確認できないので、法定代理人の同意で治療が行われます。しかし法定代理人を決める成年後見制度は、認知症高齢者100人に1人位にしか利用されておりません。それで多くの場合、家族で話し合って結局延命治療を希望することになります。親に長生きして欲しいので延命をという家族に、貴方自身の場合はどうされたいですかと訊くと、自分の場合は延命ではなく苦痛緩和を希望するといいます。延命治療を中止すると医者や家族が警察に逮捕されかねない異常な社会でもあります。

命に関して医師に出来ることは延命しかありません。限られた命を如何に生き、如何に死ぬかという問題は医学という科学では扱えず、僧侶が担当すべき課題です。日本の多くの医療現場では、その僧侶が不在なので、苦痛を伴う延命以外の選択が困難なのです。医療技術によって、本人の意思ではなく、苦痛に耐える延命を強いられているのが、世界一の長寿国日本の現実でしょう。

四苦八苦の此岸から安楽の彼岸に渡す終の棲家では、苦痛を伴う延命を強いることなく、本人の意思を尊重して、人生の終楽章を飾るお手伝いをさせて頂きます。

職員の声

普門院診療所　看護師　古澤　智美

「おはようございます・さあどうぞ」この言葉で普門院診療所の一日が始まります。休診日や時間外であっても先生達は、当たり前のように患者さまを診察します。そうやって積み重ねは、院長先生と内科の先生が支えてきた土台の上に、今　麻香先生と神前先生が小児の手術とリハビリ（理学療法）に力をいれ、スタッフ一同チームワークをmotto（モットー）にガンバッテいます。元気・明るく・そして冷静に判断できる力を先生の元で学んでます。未熟な私ですがこれからもよろしくお願いします。

普門院診療所　看護師　河原井　友紀子

皆様、こんにちは、看護師の河原井友紀子と申します。
貞雅先生に助けていただいた事があります。それから15年程時が過ぎて、人の縁とは不思議なもので人と人の結びつきが、貞雅先生との再会の機会をつくりました。

そして、普門院にお世話になり、早6年になります。

今、普門院は看護も変わりつつあります。もう一度勉強をしなければいけない事がたくさんあります。まだまだ、未熟者の私ですが、先生方、スタッフの皆様に助けられ、頑張っております。これからもよろしくご指導をお願いします

看清坊　介護職員　加藤麻代

看清坊に入社して3年が過ぎようとしてます。現在も介護の在り方を利用者様達から学ぶ事ばかりです。毎日が勉強です。
これからも利用者様一人一人が安らげる介護を目指していきたいと思います。
又、ご家族の皆様の御指導・御協力の程宜しくお願い致します。

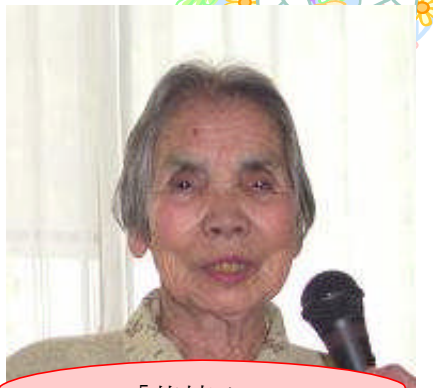
看清坊　介護職員　大塚　武

５月より勤務して、早５ヶ月が過ぎました。介護については少々勉強しましたが、実際仕事に就くと緊張の連続です。利用者様が満足して通所できるよう、日々「元気と笑顔」でお迎えしたいと考えております。
また、施設内の備品の配置、施設の構造を把握して、安全第一を最優先にし、利用者様・職員の皆様方が毎日、快適にすごせるよう維持・管理に努めたいと思います。皆様のご指導をよろしくお願いします。

行事スナップ

のど自慢（６／１７、１８）

「花」２部合唱



「茶摘み」

「王将」

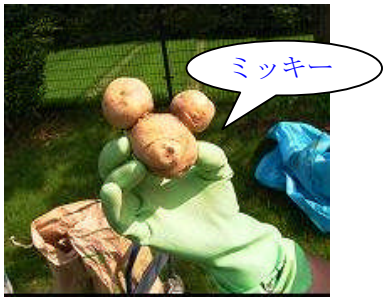
「はと」

「高校３年生」

「くちなしの花」

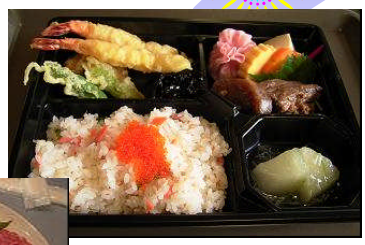
「赤とんぼ」

じゃがいも堀り（７／１７）



施餓鬼（８／１５）

納涼祭（８／７）



能羅坊のさかな釣り

通所介護事業所
中善坊

通所介護(介護予防通所介護)事業所　中善坊のご案内

平成９年５月にオープンした中善坊は、在宅で過ごされている高齢者に通って頂くことで、日々の生活が少しでも快適になるよう、お手伝いいたします。

☆　通所介護(介護予防通所介護)

ディサービスとも言いますが、中善坊に通って頂いて、簡単な体操やレクリエーション、食事、入浴などのサービスを提供いたします。

～中善坊ではこんな一日を過ごします～

8:45～9:20	お迎えにあがります。朝食は必ず食べてきて下さい。
9:30	中善坊に着いたら今日の体調を伺います。血圧や脈、体温を測り、健康チェック。今日も頑張ります！！
10:10	ラジオ体操・在宅でも可能な体操を行います。天気が良い日は散歩に出かけましょう♪
11:10	昼食前に顔面体操・舌体操・だ液腺マッサージなどの「健口体操」を行います。声を出しながら行う「パ・タ・カ・ラ訓練」も大人気です。
12:00	お昼ご飯の時間です。たくさん動いた後はご飯がおいしい！
13:15～	入浴して今日の汗を流しましょう。入浴しない方も書道や創作活動、認知症を予防する為の頭の体操、リハビリ機器(ニューステップ)を使用した運動を行うなど色々な活動ができます。
15:00	入浴後にはおやつも楽しみ！ご要望で洋菓子や和菓子でのティータイムもできます。
16:00	今日一日お疲れ様でした。送迎車へ全員乗り込んだら出発です！我が家へ帰ります。

～中善坊ではこんな事にも挑戦しています～

毎年ミニトマトをプランターで栽培し、畑に野菜の苗を植えます。

今年は、茄子やキュウリ、オクラやゴーヤも大収穫でした！

発声練習で一番良い声が出せるのは私達です！

口腔体操では大きな声を出して泣いたり笑ったりもします(^^)v

珠算を使って頭の体操にチャレンジ♪

創作活動は年に３回。今回は剣玉に色を付ける作業です。何色がいいかな～？

指の運動は真剣！

散 歩

お手玉もおはじきも懐かしいわ♪

バランスボールに座るのも上手よ

スタッフ紹介

中善坊スタッフの
小塙・黛・大根田です。
皆さんの笑顔が見られます様お手伝いします。
どうぞ、宜しくお願いします。

☆ご利用

定員 10 名の小規模型の為、個々の要望にも対応可能です。介護保険被保険者証をお持ちの方がご利用できます。詳しくは中善坊相談員までお気軽にお問い合わせ下さい。

利用時間は 9 時 30 分から午後 4 時(日曜日と水曜日はお休みです)。

☆ お問い合わせ・ご見学

お問い合わせ:TEL0285-70-1157　FAX0285-70-1158

ご見学や体験利用(午前中のみ)も随時お受けしておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

(担当;大根田、黛)

お知らせ
　風邪や季節性インフルエンザが流行する時期が近づいています。高齢者や病気の方への感染を防ぐために、発熱した方は、しばらく面会をお控え下さいますようお願い申し上げます。私達職員も予防接種を受け、日頃から手洗い・うがい等をよく行って予防に努めています。
　併せて、引き続き食中毒の予防も宜しくお願い致します。

◎行事予定
１０月　８日（金）さつまいも掘り
１０月１７日（日）益子町文化祭舞台参加
１０月２９日（金）運動会
１０月３０日（土）土砂災害避難訓練
１１月　　和食会
１２月２１日（火）クリスマス会
１２月２８日（火）餅つき大会

発行日／平成２２年１０月　４日
発行所／（医）普門院診療所　介護老人保健施設看清坊
益子町益子４４９３　　TEL:0285-70-1150